

法統輝く文化の一大拠点へ 東山浄苑

世界一の浄苑に納骨できた誇りと喜びを

【一面の続き】

そもそも、この事業は鳥丸七条の元東本願寺が昭和四十五年、造成工事を始めたものでした。しかし、宗門を壟断（ろうだん）する一派が宗議

会と門徒評議員会を扇動し、稀代の詐欺師・闇の商人Fの介在に恐れをなした宗門世論を巻き込み、工事を中断させます。

京都市は工事中止の場合、六条山一帯が風致地区のため、原状復帰命令を出さざるを得ないと元東本願寺へ警告してきました。

私は事業の頓挫により、宗門が世間の物笑いの種になるばかりか、本来、門徒教化であったこの事業が中止になると、二十億円の原状復帰工

が必要となる為、莫大な経済的損失を被るのを何とか食い止めようと「宗務審議会六条山調査委員会」を発足させ、大谷光暢（こうちよう）法主に工事続行の答申書を提出しました。

一切の借入せず、事業完遂

元東本願寺が無責任に放置したこの難事業を宗門内に誰一人として引き受ける者はいない事から、私はこれを請け負う決意を固めて、新たな宗教法人を作り、施主にする準備を始めます。しかし、京都府から法人取得に一年間の実績を要すると

言われて困惑中のところ、商社・伊藤萬株が私の下へ飛び込んで来ます。片や、元東本願寺と宗派は、この事業を私に依頼する際、金

銭的な迷惑をかけないと文書で約しておきながら、発注業者への造成費を未払いのまま、一切意に介しません。そこで、私はやむなく伊藤萬株に二万基に及ぶ納骨壇の割当（販売権）を譲渡して、債務

三十億余円を伊藤萬株に精算させます。こうして、殆ど休眼中で極度の財政窮乏の当財団の名をもって、東山浄苑東本願寺建立を完工、大谷派と元東本願寺を扶けて転悪成善を成し遂げたのでした。

さらには、平成三年に伊藤萬株が倒産、未割当の一万数千基を財団が買い戻す必要に迫られますが、これも最後まで借金をせず乗り切ります。このように度重なる経済的窮地にも関わらず、私は最後まで一切の借入金を起こすことなく、事業を完遂しました。

資産運用で嘉枝堂建立

また、財団が所有するJR京都駅前三千五百坪の京都近鉄百貨店底地売却では、財団寄付行為変更と、近鉄百貨店グループ、京都府幹部との話し合いによって、売買契約をまとめるとともに「基本財産の形態変更」と言う、前代未聞の妙案で主務官庁・京都府の認可も得た上で、財団理事会でこの案を議決、夜にはその記者会見を行いました。

こうして、土地の売却金を基本財産の不動産に再び変更し、地上二階、地下四階の大伽藍・嘉枝（かえ）堂建立を果たしたのでした。つまり、この大事業に納骨壇割当の冥加金は一切使っていません。誰もが感嘆する資産の有効活用から佛法領を守り、育てたので筆舌に尽くし難い苦難を越えて五十年。私は浄苑を世界最高、最大の納骨堂にして、

台下、仏政府から叙勲

民間人最高位勲章

台下は令和三年、駐日仏大使館で、仏政府から民間人に贈られる最高位勲章・レジオンドヌール勲章オフィシエ叙勲の荣誉に浴されました。

半世紀以上に及ぶ台下の日仏文化交流の偉業が成果を見た事であり、この慶事は財団に対する世界的称賛です。



納骨壇冥加金を使わず建立した嘉枝堂の起工式



浄苑建立の指揮を執る台下（中央昭和四十七年）

本願寺八百年の血法一如の法統が光り輝く信心結集（けつじゅ）の一大聖地、神佛習合の日本文化を国内外に伝える一大拠点として国際社会から高く評価される、世界一のブランドに育て上げました。

即ち、釈尊、七高僧、聖徳太子、親鸞聖人、覚如上人、存覚上人、蓮如上人、東本願寺開基・教如上人、本願寺近代三代傳持である厳如、彰如の両上人、そして、私へと受け継がれた正法（しょうぼう）、法統が浄苑で結実したのでした。

法統とは、久遠実成（くおんじつじよう）の阿弥陀如来の法の顕現です。私は本願念仏を、浄苑から都鄙（とひ）は

もちろん、遠くフランスやスリランカにまで弘め、末法の無明長夜（むみやうじようや）に正法の火炬（とうこ）を掲げたのであります。

東本願寺東山浄苑は私の命

であります。もっぱら厳如上

人の御遺志たる「勸学布教・

学事の振興」の念と、当財団

設立上人たる彰如上人の仕事

を受け継ぎ、両上人の御跡を

慕いて本願寺の法統を伝持し

つつ、本願留守職として釈尊

の佛舍利を安置する聖域たる

大谷御廟を護持、相続して、

浄苑の経営に専意尽瘁（せんいじんすい）し、佛興隆（ひ

いては我が国の国威宣揚の一

端を果たし得たと自負するも

のであります。

今や国内外からの群参崇敬を受けるに至ったこの浄苑、国内外からも国益に利する事業として広く賞揚を受けるこの財団であります。まさに

往時を偲んで感慨無量であ

り、遠く宿縁（しゆくえん）の

しからしむる所、如来の深厚

なる御恩徳を賜りつつ、いよ

いよこの法城を堅く守護し、

「勸学布教・学事の振興」に

邁進し続ける所存です。

そして、壇籍者各位には、

名実ともに世界一の浄苑に納

骨できた誇りと喜びを胸に、

お念佛の日暮らしをされんこ

とを願うものであります。



レジオンドヌール勲章・オフィシエ（フランス政府より）



セタン駐日フランス大使とともに（フランス大使館にて）